

魅力的な相模原市 魅力相模原市

文：相模原市 译：赵宏 李朋银

相模原市は、神奈川県^{かながわけん}の北部^{ほくぶ}に位置^いし、東京^{とうきょう}から電車で約1時間の距離^{きょり}にあります。約72万人^{まんにん}が暮らし、日本^{にほん}で18番目^{ばんめ}に人口^{じんこう}が多い都市^{とし}です。小惑星^{せいてん}探査機^{さき}「はやぶさ2」を開発^{かいはつ}・運用^{うんよう}するなど宇宙^{うちゅう}科学研究^{かがくけんきゅう}の拠点^{きょてん}として有名^{ゆうめい}な宇宙^{うちゅう}航空研究^{くわくくうけんきゅう}開発機構^{かいはつきこう}（JAXA）相模原キャンパス^{さがみはら}があります。また、春^{はる}には全市^{ぜんし}でソメイヨシノ^{さくら}の桜^{さくら}が咲き乱れ^{さかみだ}、市役所前^{しやくしょまえ}の通り^{とおり}では、約1.6kmにわたるトンネル^{とんねる}を作ります。市内^{しんない}を流れる相模川^{さがみがわ}の河川敷^{かせんしき}では、日本最大^{にほんさいだい}の大風^{おおだこ}が空^{そら}を舞う「大風まつり」^{おおだこ}が開かれるなど、豊かな自然環境^{しぜんかんきやう}に恵まれ^{めぐ}、四季折々^{しきおりおり}の自然^{しぜん}を楽しむことができます。

相模原市位于神奈川县的北部，从东京乘电车约1小时即可到达。常住人口约72万，人口数量在日本（市町村中）位列18。日本宇宙航空研究开发机构（JAXA）相模原园区是著名的宇宙科学研究基地，负责开发和运行“隼鸟2号”小行星探测器。此外，每到春季，染井吉野樱便会开满相模原市，市政府前有一条长达1.6千米的樱花大道。这里还会举办“大风箏节”，在流经市区的相模川河岸，人们任日本最大的风筝在空中飞舞。如此得天独厚的自然环境令游客尽享四季风光。

イベント

活动

相模原市民桜まつり

市役所前^{しやくしょまえ}の通り^{とおり}には、約1.6kmにわたって、約300本の桜^{さくら}の木^きが植えられています。桜^{さくら}が満開^{まんかい}の時期^{じき}に開催^{かいさい}する相模原市民桜まつり^{さがみはらしみんさくら}は、市制施行^{しせいしこう}20周年^{しゅうねん}を記念^{きんねん}して、1974年に始まりました。毎年^{まいとし}4月^{がつ}（4年に一度、5月^{ごがつ}）の土日^{どにち}に開催^{かいさい}され、約50年の歴史^{れきし}を重ね^{かさ}ねる中で、2日間^{ふつかかん}で約40万人^{まんにん}が集まる市^{あつ}の一大イベント^{いちだい}となりました。満開^{まんかい}の桜^{さくら}のトンネル^{とんねる}は、夜^{よる}にはライトアップ^{げんそうてき}され、幻想^{ふん}想的な雰囲気^{ふんいき}に包まれます。





相模原市市民桜花节

市政府前的街道上栽种了约300棵樱花树，全长约1.6千米。相模原市市民樱花节在樱花盛开的时节举行，樱花节是为纪念实行市制20周年，自1974年起设立的节日。相模原市市民樱花节在每年4月（每4年改为5月一次）的周六和周日举行，在其近50年的历史中，已经发展为2天内可吸引约40万人的相模原一大盛事。夜间，盛开的樱花搭建出的“隧道”被灯光点亮，笼罩于如梦似幻的氛围之中。

相模の大風まつり

日本最大の凧が揚がる相模の大風まつりは、市内を流れる相模川の河川敷で毎年5月に開催されます。この行事は、1830年ごろに始まった、子どもの誕生祝いや豊作祈願のための凧揚げに由来すると伝えられています。まつりで使う凧は、地域の住民が数カ月かけて制作し、赤と緑でその年の題字が書かれます。

相模大风筝节

相模大风筝节于每年5月在流经市区的相模川河岸举行，届时将放飞日本最大的风筝。据说这一活动始于1830年前后，当时人们用放风筝来庆祝孩子出生或祈愿丰收。风筝节上使用的风筝由当地的居民历时数月制作而成，风筝上会用红色和绿色写上当年的题字。



さがみ湖イルミオン

相模湖の近くにある遊園地「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」では、冬の間、イルミネーションのイベントが開催されます。辺り一面が光の海に包まれ、家族やカップルなど多くの人でにぎわいます。観覧車から見下ろした景色は幻想的で、まるでどこか別の世界に来たかのようです。

また、春には、関東最大級である約 2500 本の桜が、一面に咲き誇ります。

相模湖灯光秀

在相模湖附近的游乐园“相模湖度假区 游乐森林”，冬季会举办灯光秀活动。整个区域仿佛被灯光的海洋包围，家庭、情侣等各类人群聚集于此，热闹非凡。从摩天轮上俯瞰的景色恍如梦境，让人觉得仿佛来到另一个世界。

此外，在春季，这里有约2500棵樱花树的樱花连片绽放，是关东地区规模最大的樱花林。



アクティビティ

キャンプ

相模原市には21のキャンプ場があり、四季折々の自然を楽しみながら、バーベキューや川遊びをすることができます。東京都心からも比較的近いので、仕事をした後に訪れる人も多くなります。夕方に焚き火を楽しむ「Twilight SAGAMIHARA」という取り組みを行っているキャンプ場もあります。

娱乐





露营

相模原市有21个露营地，在这里您可以一边欣赏随四季变换的自然风光，一边烤肉或戏水。由于距离东京中心区域比较近，所以也有很多人工作结束后来露营。有的露营地正在开展名为“相模原暮光之城”的活动，游客可以在傍晚时分享受篝火的乐趣。

サイクリング

とうきょう 2020 オリンピックの自転車ロードレース競技では、相模原市の一部がコースに設定されました。相模原市は、東京など周辺からのアクセスがよく、宮ヶ瀬湖や津久井湖などの美しい自然景観を求めて、多くのサイクリストが訪れます。5月の中～下旬には、国際自転車ロードレース大会である「ツアー・オブ・ジャパン」の相模原ステージが開催されます。

自行车运动

相模原市的部分地区曾被设置为2020年东京奥运会公路自行车比赛的赛道。相模原市与东京等周边地区之间的交通十分便利，许多骑行者为了目睹宫瀬湖和津久井湖等地美丽的自然风光而来到相模原市。5月中下旬，这里还会举办国际公路自行车大赛“日本之旅”相模原站的比赛。



めいしょ 名所

宇宙航空研究開発機構（JAXA）相模原キャンパス

相模原市には宇宙航空研究開発機構（JAXA）のキャンパスがあり、小惑星探査機の開発など、宇宙に関する最先端の研究を行っています。宇宙科学探査交流棟では、宇宙科学に関連する開発の歴史や成果のほか、今後の計画について学ぶことができます。

日本宇宙航空研究開発機構（JAXA）相模原园区

日本宇宙航空研究開発機構（JAXA）的园区位于相模原市，负责进行与宇宙相关的尖端研究，如小行星探测器的研发等。在宇宙科学探索交流大楼，可以了解宇宙科学的发展历史和成就，以及未来的计划。

ふじのげいじゆつ みち 藤野芸術の道

藤野地区は芸術家が多く住む芸術の街として発展してきました。「藤野芸術の道」と呼ばれる沿道には、野外に22点もの彫刻作品が展示されており、自然と一体化したアートを散歩しながら楽しめます。「緑のラブレター」と名付けられた、山の斜面に置かれた彫刻

藤野艺术之路

有许多艺术家居住在藤野地区，这里作为艺术之地发展起来。沿途被称为“藤野艺术之路”，露天展出了22件雕塑作品，人们在这里可以一边散步，一边欣赏与自然融为一体的艺术作品。名为“绿色情书”的雕塑被放置在山坡上，即使坐在行驶于高速公路的车里也能看到。名为“山之眼”的雕塑上下长7米，从左眼角到右眼角的总长度约45米，在远处也能看得很清楚。

名胜



は、高速道路を走る車の中からも見ることができます。「山の目」と呼ばれるオブジェは、上下の長さが7m、左の目尻から右の目尻までを合わせた全長は約45mもあり、遠くからでもよく見えます。



みやがせ 宮ヶ瀬ダム

市内には5つのダムがあり、神奈川県民の生活や産業に欠かせない重要な水源地となっています。このうち、宮ヶ瀬ダムは、相模川の支流の一つである中津川にできたダムで、規模は首都圏最大級、来場者数は観光ダムの中で日本一を誇ります。

宮瀬水坝

相模原市内有5座水坝，是神奈川县居民生活、生产不可缺少的重要水源地。其中，建造在相模川的支流之一——中津川上的宫瀬水坝是首都圈内规模最大的水坝，也是日本游客最多的观光水坝。



じんばさん 陣馬山

相模原市と東京都八王子市の境にある陣馬山は、歩きやすく初心者にも人気の山です。白馬の像がある頂上からは360度のパノラマが広がり、富士山をはじめ、江ノ島、東京スカイツリーなど、関東平野を一望することができます。

阵马山

阵马山位于相模原市和东京都八王子市的交界处，容易攀登，因此也受到初级登山者的欢迎。从白马像所在的山顶可以看到360度的全景，富士山、江之岛、东京天空树等关东平原的美景尽收眼底。



めいぶつ 名物

たまご

麻沟台地区では古くから養鶏が盛んで、養鶏場がある通りは「たまご街道」と呼ばれています。街道沿いの養鶏場では、採れたての卵のほか、卵を使ったプリンやシュークリーム、クリームブリュレなどのスイーツを販売しており、地元の人に親しまれています。

鸡蛋

麻沟台地区自古以来养鸡业兴盛，养鸡场所在的街道被称为“鸡蛋街道”。沿街的养鸡场除了出售现捡的新鲜鸡蛋之外，还出售用鸡蛋制成的布丁、泡芙、焦糖布丁等甜点，深受当地人的喜爱。



ラーメン

相模原市はラーメン激戦区の一つで、美味しいお店が多くあり、醤油や味噌、塩、豚骨など、さまざまな味のラーメンが市内で提供されています。市内で生産された卵や豚、醤油などの食材を使い、地産地消を意識したものもあります。

拉面

相模原市是拉面“修罗场”之一，有很多美味的拉面店，市内的拉面店中，酱油味、味噌味、盐味、猪骨味等各种口味的拉面一应俱全。有些店还会有意识地进行地產地销，使用当地产的鸡蛋、猪肉、酱油等食材。



日本酒

日本酒を作るには、清らかな水が欠かせません。相模原市は、水に恵まれている上に山地があるため、日本酒の仕込みに向いています。市内には2つの酒蔵があり、どちらも長い歴史を誇っています。そのうちのひとつは1751年に創業し、神奈川県内に現存する酒蔵の中で最も古い酒蔵です。

日本酒

要醸造日本酒，纯净的水是不可或缺的。相模原市因其得天独厚的水和山地资源而极为适合酿造日本酒。市内有两个酒窖，都拥有悠久的历史。其中一个酒窖创立于1751年，是神奈川县现存的最古老的酒窖。



ゆず

ゆずの原産地は、中国・長江の上流域といわれていますが、日本でも古くから各地で栽培されてきました。農業が盛んな藤野地域では、休耕地にゆずを植える習慣がありました。現在は、ゆずを使用したサイダーやワインなど、特産品が開発されています。市内の飲食店でも、藤野産のゆずを使った料理やスイーツがだ出されています。

柚子

据说柚子的原产地是中国长江的上游地区，但自古以来日本各地也有栽培。在农业发达的藤野地区，有在休耕地上种植柚子的习惯。目前，正在开发用柚子制成的汽水和葡萄酒等特色产品。市内的餐厅还有使用藤野产的柚子制作的菜肴和甜点。

津久井きなこ

きなこは、大豆を挽いて作った粉で、料理や和菓子に香ばしさを出すために使われます。相模原市の津久井と呼ばれる地域を中心に、神奈川県で古くから栽培されてきた「津久井在来大豆」という大豆は、流通量が少ないため「幻」の大豆と呼ばれています。その大豆を使ったきなこは甘さが特徴で、地元の飲食店でも好んで使われています。

津久井黄大豆粉

黄大豆粉是用大豆研磨而成的粉，用于为菜肴和日式点心增添香味。神奈川县自古栽培的名为“津久井在来大豆”的大豆主要种植于相模原市的津久井地区，由于流通量少而被称为“梦幻”大豆。用这种大豆制成的黄大豆粉味道甘甜，当地的餐厅也很喜欢使用。



アクセス

中国各地と羽田空港（東京）を結ぶ直行便が運航
天津、青島、上海（虹桥国際空港、浦东国際空港）
から約3時間
大連、北京（首都国際空港、大興国際空港）か
ら約3時間半
深センから約4時間半
広州から約5時間半

羽田空港から相模大野駅まで、バスで約1時間
～1時間半

交通路线

中国各地与羽田机场（东京）之间都有直达航班
从天津、青岛、上海（虹桥国际机场、浦东国际机场）出发约需3小时
从大连、北京（首都国际机场、大兴国际机场）出发约需3个半小时
从深圳出发约需4个半小时
从广州出发约需5个半小时
从羽田机场到相模大野站，乘坐巴士需1小时至1个半小时

制作協力：日本国自治体国際化協会北京事務所（CLAIR, Beijing）
本文协助单位：日本国自治体国際化協会北京事務所（CLAIR, Beijing）